

# 令和5年度徳之島町教育行政の概要 最先端の学びの町への挑戦2023



## R5.4 徳之島町教育長 福 宏人

徳之島町教育委員会では、令和元年度、徳之島町総合教育会議において、令和2年度からの10年間に取り組むべき教育施策を明らかにした「徳之島町教育大綱」を策定しました。教育大綱では、「未来を創造する思いやりと文化を育む人間性豊かな人づくり」を基本目標を掲げ、これまでの本町の教育の推進上の成果と課題、教育を取り巻く社会の動向、社会状況の変化等を踏まえて、以下の5項目に取り組むべき視点としました。

- 時代を超えて変わらない価値のあるものの尊重 ※1
- 社会の変化に対し、夢や希望を実現する能力の育成 ※2
- 学校・家庭・地域・企業等の積極的な連携・協働 ※3
- 郷土の教育的な伝統や風土の活用と未来への継承 ※4
- 教育と地域文化の核となる学校の役割の尊重 ※5



- 1 **R5奄美群島日本復帰70周年 世界自然遺産の島 徳之島町SDGs未来都市**
- 2 **最先端の学びの町, キャリア教育の推進** (大都市圏インターンシップ事業・海外派遣米国ニューヨーク)
- 3 **R5本格スタート「学校運営協議会の組織化と地域学校協働活動」**の推進
- 4 学士村・積極進取の断髪精神・ヤンキチシキバン・プログラミング教育・グローバル人材の育成
- 5 学校再編答申内容の具体化 (子ども園・施設分離型小中一貫教育・東天城中新校舎建設) 町ふるさと留学・町小規模校入学特別許可制度・親子留学制度 (R5本格実施)・第3の居場所づくりの推進

これらの視点に対応し、10年後を見据えた本町の教育の姿として「未来を創造する新たな教育への挑戦」を教育行政目標とし、「伝統的教育風土と向学愛知の精神の再興で未来を拓く」「徳之島で学んでみたいと思われる日本一の教育の実現」をキャッチフレーズとしました。

本年度の町教育行政重点施策は、「新しい時代にふさわしい教育の推進」を目指し、令和5年度も引き続き以下の項目を重点的に推進します。

- 最先端技術の活用による学校教育の改善・充実と負担軽減
- 幼児教育における教育の質の向上
- 持続可能な開発のための教育 (ESD・SDGs) の推進
- 学校における働き方改革を通じた教育の質の維持



### ① 社会構造の変化等に対応した徳之島町の教育行政の重点

□都市圏と地方の経済格差, 地方の更なる人口減少・高齢化, □世界におけグローバル化, デジタル化の進展, 日本経済の国際競争力の低下, □地域コミュニティの希薄化, SDGsの多様性や人権意識の高まり, 行政・企業・個人等の社会的責任の意識

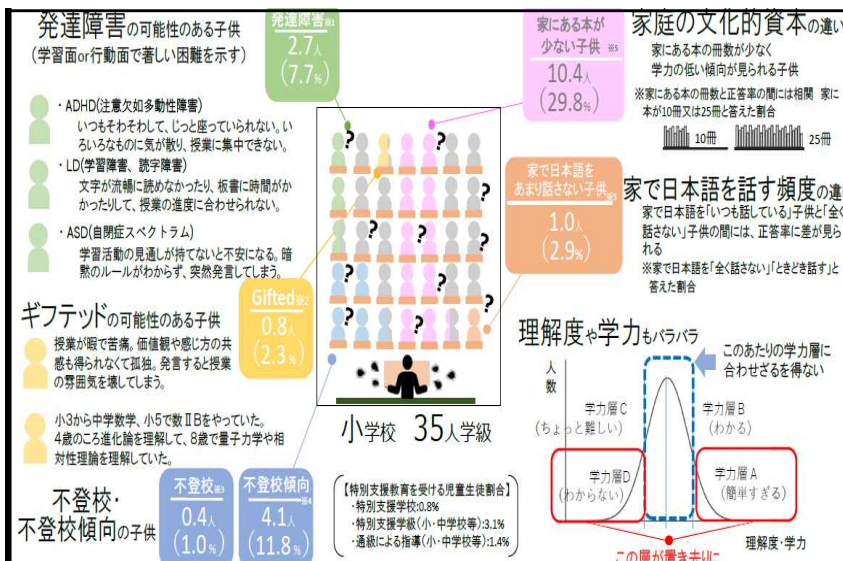
の高揚, □災害への対応と地域のつながりの重要性, 新型コロナウイルス感染症の拡大等複雑で予測困難な時代への対応

### ② 学校運営に関わる変化

□令和の日本型教育の構築, 社会に開かれた教育課程, GIGAスクール構想 □いじめ, 不登校, 児童虐待SNS等のインターネット上の諸問題, 特別支援教育等, □学校における働き方改革

### ③ 「新たな学び」を支える体制構築

中央教育審議会は**2022年12月19日**の総会で、今後の改革の方向性をまとめた答申『**令和の日本型学校教育**』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について『**新たな教師の学びの姿**』の実現と、多様な専



門性を有する質の高い教職員集団の形成～」を取りまとめた。

教師に求められる資質能力については「教職に必要な素養」「学習指導」「生徒指導」「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」「ICTや情報・教育データの活用」の5項目に再整理された。

④ 徳之島町教育委員会と大学・関係機関等との連携

- **ソフトバンク社**との教育連携協定  
(家庭学習用pocketWi-Fi・ペッパー活用事業・キャリア教育・ラインsnsノート)
- **慶應義塾大学北研究室**との連携協定 (幼稚園調査, 言葉指導, 「オンライン」特別支援教育, 就学関係検査・相談)
- **北海道教育大学** (遠隔教育徳之島型モデルの研究・普及)  
学校力が向上する遠隔合同授業～徳之島町から学ぶへき地・離島教育の魅力」教育出版社3月刊行
- **沖縄科学技術大学院大学** (児童生徒教育交流・連携の推進)  
世界トップレベルOIST (沖縄科学技術大学院大学) と徳之島町の新たな連携推進

### 学校力を高める取組み 新たな教育への挑戦

徳之島から世界へ 世界から徳之島へ 最先端の学びの町

令和5年度 徳之島町 海外語学留学事業  
～国際感覚を育む語学学習・海外体験 in New York～

徳之島町 親子留学制度

世界自然遺産の島で 最先端のICT教育

R5 海外語学留学事業 徳之島町教育委員会

国際感覚を育む語学学習・海外体験 in New York

語学研修 生活体験 交流

R5 親子留学スタート 徳之島町教育委員会

### 学校力を高める取組み 新たな教育への挑戦

基礎学力のスキルアップ 将来の夢実現 キャリア教育

令和5年度 学士村塾 塾生募集!

入学料 3,000円

入塾料 3,000円

塾生募集! われんきゃの学びを応援します!!

学士村塾とインターンシップ事業 将来の自分の夢の実現に向けた新たな学びのスタート 徳之島町教育委員会

### 学校力を高める取組み 新たな教育への挑戦 遠隔特別支援教育

慶應義塾大学北研究室 遠隔による特別支援教育指導モデル

教育委員会 状況に応じた具体的な指導

遠隔双方向授業

特別支援学級

特別支援教育の充実 特別支援学級の増加 専門的指導者の不足 特別支援学級担任の相談対応 就学判断などの実施の課題 進級指導の課題 (時間・専門性) 合理配慮, 保護者への理解の推進 インクルーシブ教育 合理的配慮 バリアフリーの教育環境

### 学校力を高める取組み 新たな教育への挑戦

学校運営協議会と地域学校協働活動

【自転車図】前輪は学校運営協議会 後輪は地域学校協働活動

①協議・承認機能 ②意見具申機能 ③支援機能 ④評価機能

後輪は地域学校推進エンジン

①コ ②継続的な活動の充実

学校に対する多様な支援・応援活動

地域貢献活動

徳之島町の特徴ある活動群 世界自然遺産・未来都市・最先端の学びの町 島口・島崎・地蔵文化の伝承

### 学校力が向上する遠隔合同授業 徳之島町から学ぶへき地・離島教育の魅力

学校力が向上する遠隔合同授業 徳之島町から学ぶへき地・離島教育の魅力」教育出版社3月刊行

### 学校力を高める取組み 新たな教育への挑戦

島ワレンキヤの未来を創造する新しい時代にふさわしい教育事業の推進

We're OPEN 離島における最先端の学びの町への挑戦モデル

島ワレンキヤの未来を創造する新しい時代にふさわしい教育事業の推進

We're OPEN 離島における最先端の学びの町への挑戦モデル

主な事業内容

- 新しい学びを支える教育環境の整備【教育環境部門】
- ICT活用による授業の改善【ICT活用推進】
- 能力育成のための教育資源の活用【協働、研究、発表、デジタルコンテンツ】

## 令和5年度事業施策（施政方針） 未来を担う子どもを育み、活力を生み出すまちづくり

### 幼児・学校教育の充実



本町では、「持続可能な社会の創り手」を育むために、①**幼児期及び幼小接続期の教育の質的向上**や小・中学校を中心にした「GIGAスクール構想」の下で一人一台PC端末、Wi-Fi環境の②**日常的活用や本町独自の遠隔教育、プログラミング教育**などICT教育における学びを充実させ「最先端の学びの町」の実現を目指します。また、③**部活動の地域移行**など新しい時代の教育へ対応するために④**学校運営協議会や地域学校協働活動**を推進します。

幼児教育の充実につきましては、教育の質の向上を図るために、教育環境の整備も含めた幼児教育の内容・方法の改善・充実や、人材の確保・資質及び専門性の向上など、民間の保育園、幼稚園及び関連施設と連携を深めながら、⑤**幼児教育を推進するための体制の構築**に努めます。

学校教育の充実については、新しい時代に対応できる子どもの育成を目指した「最先端技術の利活用による学校教育の改善・充実」を目指します。学校におけるICT活用については、⑥**1人1台PC端末の積極的な利活用や持ち帰り学習等**に取組みます。⑦**小規模校5校では北海道教育大学とも連携し「徳之島型モデル」の全国展開**をはじめ遠隔合同授業や合同研修会を継続的に実施します。学士村塾においては、⑧**教育DXを支える基本的ツール**としてiPad端末を1人1台配布し、アプリを用いた学習により基礎学力の向上を図り、町全域において積極的なICT活用で子どもの情報活用能力など将来を見据えた資質能力のスキルアップを図ります。

プログラミング教育の充実に向けては、「みらい創りラボ」井之川において、小学生及び中学生を対象にプログラミングスクールを継続し、中学校においては新1年生を対象としたプログラミング教材の導入及び学習の実施に取り組み、令和6年度には全中学生が新学習指導要領に沿ったプログラミング教育を学習できるよう環境を整備してまいります。

また、語学や国際社会に興味を持つ高校生が夢を描き、夢に挑戦する環境づくりとして⑨**「海外語学留学事業」**を実施します。高校生が実際に海外に行き、海外の文化や人々に触れ、これまでに培った語学力やコミュニケーション能力が適応できるのかを試み、語学能力にとどまらず、コミュニケーションスキル、チャレンジ精神、新しいものに興味を持つ柔軟性などを身に付け、グローバル社会で活躍する人材育成に努めます。

各幼稚園、各学校等の施設整備につきましては、「学校施設長寿命化計画」や「バリアフリー化整備計画」に基づき、改修やバリアフリー化を推進します。⑩**東天城中学校の新校舎建築**については、令和6年度の完成に向け事業を推進します。

さらに、町内の小中学校に在籍する特別な支援や配慮を要する児童生徒に対して適切な対応をするために、特別支援教育支援員の増員や、⑪**慶応義塾大学北研究室による遠隔による**間接指導や直接指導を実施し、特別支援教育の充実を図ります。

このほか、幼稚園の年長対象年齢児から中学生までの様々な教育活動についてポイントを付与し、ポイントを地域振興券として利用できる⑫**「われんきやポイント事業」**を新設します。児童生徒の活躍を奨励するとともに、家族での参加を促進することで、家族の中で健康づくりや家庭学習に対する理解を深め、児童生徒の様々な努力や挑戦を応援し、子育て世帯を支える地域づくりを目指します。

### 学び合い、育て合い、笑顔きらめく社会づくり

#### 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進

令和5年10月7日から特別国民体育大会が鹿児島県内で開催されます。本町においても6月18日に⑬**デモンストレーション競技**として、ふれあいグラウンド・ゴルフ競技、7月31日には炬火リレーを開催します。両イベントを通じて、町民が大会の果たす役割やスポーツの意義について考える機会づくりを推進するとともに、生涯スポーツの気運醸成を図ります。

⑭**スポーツアイランド推進事業**では現在、冬季に合宿等が集中しているため、今後は夏季における合宿等の誘致活動を行うことにより、新規団体の受入に努めます。また、子どもや大人へ新たなスポーツの魅力を発信することにより、多種多様な種目のスポーツ振興、競技力の向上や人材育成に努めます。

## 青少年健全育成の推進

青少年育成につきましては、③**町民会議全体として「読書活動の推進」に取組み**、三部会においては、「早寝・早起き・朝ごはん」・「地域行事への参加」・「スマートフォンの適切使用」の3項目を継続し、青少年が健全に成長していくための地域づくりに努めます。

本町の子宝を大切にす風土を活かし、④**「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりを推進**し、青少年の地域行事への参加促進を図ります。

⑤**ジュニア・リーダークラブ**では、各県のジュニア・リーダーとの情報交換や、体験活動を通して資質向上に努め、少年団体活動・地域活動等の充実・振興を図ります。

⑥**インターンシップ教育事業**では、中高生の望ましい勤労観や豊かな職業観の育成を目的とし、首都圏の大手企業などへの訪問や職場体験を行います。また、地域学校交流を行い、情報交換や活動を通して、お互いのコミュニケーション能力の向上に努めます。

家庭教育の推進には、家庭・学校・地域の連携が必要であることから、⑦**家庭教育支援員**を中心として、⑧**親子体験講座や子育てサロン**を実施することにより家庭教育の推進に努めます。

また、令和4年度から本格稼働した、地域全体で子ども達の成長を支える⑨**「地域学校協働活動」を推進**し、地域と連携した学びの機会や家庭教育を支援します。

⑩**子ども読書活動**については、『「1の日20分読書」運動を通して「心に残る1冊の本』を基本方針として、子どもの発達段階に合わせた読書活動の推進を図っていくとともに、家庭・学校・地域をはじめ関係機関相互の連携を図り、子どもの読書環境の整備・充実に努めます。

各種事業及び活動・取組により、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献などのSDGsの理念を理解し、自ら実行し発信する青少年の育成に努めます。

## 郷土文化の継承・活用

町誌編さん事業で刊行した『自然編』『民俗編』『通史編』の内容を精選し、写真やイラストなどの視覚資料を豊富に掲載した⑪**『簡易版』（仮称）を刊行**します。

町誌編さん事業、文化財保護審議委員や教育機関、町民などと連携し、さらなる資料の収集・保管ができるように努めます。また、町で記録している映像資料などをデジタル化し、⑫**デジタルアーカイブ**として広く町民が視聴できるよう努めます。⑬**指定文化財を適切に保存・管理**できるようにし、修復が必要なものについては、助成金などを活用し修復できるよう努めます。また、未指定の文化財については、調査や審議を進め、文化財指定等ができるよう努めます。

⑭**奄美群島日本復帰70周年にあたり、復帰運動に関するパネル展の実施**や、体験学習講座を開設するなど、郷土の自然や文化、歴史に対する理解を深められるよう取組みます。

### 高岡町長 施政方針「むすびに」

新型コロナウイルス感染症との闘いが始まり早3年が経過・・・・・・・・・・季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げること決定しています。

一方で本年は、「奄美群島日本復帰70周年」、「奄美群島振興開発計画（令和元年～5年度）」最終年度、「奄美群島成長戦略ビジョン2033」策定年度、そして「徳之島町新庁舎落成」等、あらゆる面で節目を迎えます。政府は新たな地方創生の取組として、幅広くあらゆる分野での地方の社会課題解決や魅力向上の**先駆的な取組を支援・推進**するとしています。例えば「デジタル田園都市国家構想交付金」、「過疎地域持続的発展支援交付金」、「みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業～スマート農業総合推進事業」など、これらの事業に共通する要綱は、**デジタルの活用、データ化、地域間連携**などです。

広い視野を持ち、**ICT・IoT・AI活用やDX化に対応する人材の育成「最先端の学びの町の教育」**と、土づくりや堆肥の有効活用、有機栽培などにみられる原点に還りゆく「農業の振興」、そして結いの心「地域コミュニティー形成」の必要性を改めて強く痛感するところです。その観点から、**次期奄美群島振興開発計画には、離島のハンデを解消する教育環境の構築「教育及び文化の振興」と幅広い分野での「農業の振興」について盛り込むよう取組んでおります。**

先人たちから受け継いだ豊かな恵みを生み出す自然環境と、自然との共存の中で誕生した伝統文化を「守りつないでいく島」と「新たな時代へのまちづくり」、誇れる徳之島町の構築を目指します。

### 「We'reOPEN～みらい輝くとくのしま町～」

開かれた未来へ経済・社会・環境の統合的な取組を推進することにより、持続可能な徳之島町の構築に全力で取り組むことを申し上げまして、施政方針とさせていただきます。



【町マスコットキャラクター】  
**まぶーる君** 平成29年3月  
方言の「まぶられる（意味：まもられる・恵まれる）」と牡牛の英名「Bull（ブル）」